

# かぬまでちょうどいい暮らし

鹿沼営業戦略課シティプロモーション係 ☎(63)0154



コロナ禍において、新たなライフスタイルが提唱され、地方移住はその選択肢の一つとしてますます注目を集めています。地方移住のさまざまなカタチ。今回は、実際に鹿沼市へ移住した人に話を聞きました。

## いちご新規研修生として移住

なみざき まさし  
**浪崎 雅史**さん(静岡県浜松市から)

■鹿沼を移住先に選んだ理由は？

**浪崎さん(以下、浪)** 新規就農研修のカリキュラムがきちんと整っていたことがとても魅力的でした。

また、研修先の「出会いの森いちご園」では、安心して集中的に研修を受けることができている。同期や先輩の研修生もいて、みんな切磋琢磨できる環境はとても良いと思います。

■鹿沼に移住する前はどんな仕事をしていたか？

**浪** 工業系の薬品会社で営業職として勤めていました。

■新天地でいちご農家を目指すことに不安はなかったですか？

**浪** もちろん経済的なことも含めて不安はありました。ただ、もともと転勤が多かったこともあり、住む地域が変わること自体に抵抗はありませんでした。

今は、妻もこのいちご園でパートとして働いていて、他の従業員などの皆さんから、鹿沼のことをいろいろ教えてもらっています。また、他の研修生の存在があったので、自身も新しいコミュニティに入っていくやすかったです。

■鹿沼での暮らしはどうですか？

**浪** 買い物や日常の用を足すような場所はそろっているのですが、生活上の不便は感じていません。子どもたちが無事保育園に入園できて妻も安心していきますし、自然に触れながらのびのびと子育てができる環境だと思います。

■今後どんな暮らしや仕事をしていきたいですか？

**浪** 移住してきた者として、人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。そして将来的には、1反(たん)当たり7t以上収穫できることを目標に、立派ないちご農家になれるよう、研修を頑張っていきたいです。



▲いちご園で作業する浪崎さん夫婦

## 鹿沼市新規就農研修制度について

本市では、「いちご」と「ら(18ページ参照)」の新規就農支援のため、専門的・実践的な研修を実施しています。農業未経験者でも、研修後に市内で就農する意思があれば応募することができます。

### ■いちご新規就農研修

**研修期間** 2年間 **研修場所** 出会いの森いちご園(酒野谷)  
**研修内容** 1年目：土づくりから出荷までの作業実習など  
2年目：1人3棟の研修用ハウスでの実践研修

## 移住相談ワンストップ窓口

シティプロモーション係(市役所本館3階)では、住まいや仕事のことなど、市外からの移住を検討している人の相談を受け付けています。

移住支援サイト

「かぬまでちょうどいい暮らし」▶





カフェの開業を目指して移住

わたなべ さとし 渡邊 聡さん(埼玉県春日部市から) わたなべ くみこ 渡邊 久美子さん(茂木町から)

■鹿沼を移住先に選んだ理由は？

**渡邊さん(以下、渡)** 鹿沼には母方の実家があり、子どもの頃によく遊びに来ていたので、自分にとっての「故郷」という感覚がありました。多くの自治体を巡って移住先を検討しましたが、最終的にゆかりのある鹿沼を選びました。日光連山や大芦川をはじめとした、自然豊かな風景が印象的だと感じています。

■移住や鹿沼での暮らしに不安はなかったですか？

**渡** 山あいの住まいを探していました。災害への不安もあったので、市のハザードマップを参考に、よりリスクの少ない物件を探しました。また、地域になじめるか心配していましたが、気さくに声を掛けてくれたり、採れたての野菜や店舗づくりに必要な木材などを分けくれたりと、皆さんが自分たちを温かく受け入れてくれたことがとても嬉しかったです。

■移住や開業までにどんな準備をしましたか？

**渡** 市の「空き家バンク」を通じて購入した物件をリノベーションして移住しました。勤めていた頃は鹿沼から浦和まで新幹線で通い、平日は

仕事、週末は自宅のリノベーションという生活でした。店の家具なども自分で手作りするなど、大変でしたがとても充実していました。

■今後どんな暮らしや活動をしていきたいですか？

**渡** このカフェは山小屋をイメージしているので、山小屋に登山者を見守るように、鹿沼を訪れた人を見守る、気軽に立ち寄れる場所にしていきたいと思っています。自分たちと同じように、若い人たちにも移り住んでもらえるよう、この地域を盛り上げていくサポートがしたいです。

■移住を考えている人へメッセージを

**渡** コロナ禍もあり、地方への移住を考える人が増えている状況かと思いますが、都会から地方への移住には大きな決心が必要です。実際の移住生活が思い描いていたものと違うこともあるかもしれませんが、地域の皆さんとのコミュニケーションがスムーズに進めば、定住につながっていくと思います。自身のやりたいことを発信しつつ、肩の力を抜いてコミュニケーションしてみると良いかもしれません。

山カフェ『ななかまど』

自家焙煎のコーヒーと地元産の米や野菜を使ったスパイスカレーが楽しめます。秋には鮮やかに紅葉する、バラ科の植物ナナカマド。その花言葉「あなたを見守る」のように、山カフェ『ななかまど』も地域や来訪者を優しく見守る存在を目指しています。

所在地 引田 373 電話番号 ☎ (78)4026 駐車場 10台

営業時間 金曜日 午前11時～午後4時

土曜日 午前11時～午後2時、午後5時～9時

日曜日 午前8時～午後4時

※営業時間は変更になる場合があります。



Instagram ▶ kanuma.nanakamado